

札幌五法人会合同セミナー

～ 最近の税務調査の傾向 ～  
**税務調査の態様と  
その対応セミナー**

開催のご案内

税務調査においては、税務署側の考え方と納税者側の考え方に多少のズレがあると思われます。この度は、税務署側で調査に着手するまでの事務の流れや調査手法、納税者側の税務調査を受ける上での対応・準備について説明いたします。

税務調査では、企業の経営者でも気付かなかった問題点等が発見・判明することもあります。税務調査における色々な手法は、税務署側で使われるだけでなく、企業活動における経営改善の手法として利用することもできます。

**開催要領**

【日時】平成29年**8月22日**(火) 13:30～15:30

【会場】北海道経済センター8階Bホール (札幌市中央区北1条西2丁目)

【受講料】**無 料**

【講師】税理士 **藤 田 勝 紀** 氏

【定員】各法人会**40名**／定員になりましたら、お断りの連絡をさせていただきます。

【申込方法】裏面の申込書にご記入のうえ、FAXで下記あてにお申込みください。

(公社)札幌中法人会 FAX 221-5107 TEL 221-5087

(公社)札幌西法人会 FAX 241-3216 TEL 231-0763

(公社)札幌北法人会 FAX 709-8830 TEL 709-8802

(公社)札幌東法人会 FAX 802-6745 TEL 802-6744

(公社)札幌南法人会 FAX 241-3218 TEL 251-7863

(裏面もご覧ください。)

# 研 修 内 容

※受講者の状況によって変更する場合があります。

目 次	目 次
1 税務調査とは	4 税務調査の事前連絡
2 税務調査の態様	5 税務調査の頻度及びスケジュール
(1) 部署別態様	6 税務調査の具体的内容
(2) 調査内容別態様	7 税務調査の事前準備
3 税務調査の税務署側の準備	8 税務調査の対応策
(1) 取引資料の収集	9 修正申告を出す前に
(2) 調査対象の選定	10 最近の税務調査の傾向
(3) 準備調査	11 税務調査から得るべきもの

## 講師のプロフィール

氏 名 **藤 田 勝 紀** 氏 (税理士)

昭和48年から20年間、国税庁、東京国税局、麻布税務署及び蒲田税務署に勤務し、主に法人税関係事務に従事した。平成5年に札幌国税局に転勤 (Uターン) となり、国税局調査課、帯広税務署、稚内税務署、岩見沢税務署、函館税務署、旭川中税務署、札幌西税務署に勤務し、法人税担当統括国税調査官・法人税担当特別国税調査官として主に法人税調査事務に従事した。

平成26年6月に国税局税務相談室で主任税務相談官を最後に、定年退職した。税務相談室では、法人税関係の相談の他、所得税、贈与税、相続税、消費税、印紙税等、ほとんどの国税に対応した。

退職後は、税理士事務所を開業するとともに、北海道税理士会札幌北支部に所属し、税務支援対策部副部長や篠路青色申告会顧問等を行っている。

### ～税務調査の態様とその対応セミナー～

#### <受講申込書>

平成29年8月22日(火)開催

会場：北海道経済センター8階Bホール(札幌市中央区北1条西2丁目)

◎この申込書は受講票になりますので、当日ご持参ください。(改めて受講票の発行はいたしません)

会 社 名		○で囲む	法人会員 ・ 非会員
住 所	電 話		
	F A X		
参加者名			

お願い ※申込後、参加できなくなったときは、事務局にご連絡をお願い致します。  
 ※会場には駐車場がありませんので、公共の交通機関をご利用ください。